

振興の新年

し、新年といつても、何も賀へるべき理由がない、たゞ地球が道を一巡して三百六十五日四千三百六十五回の循環終りを告げ、更に繰返へし運行を始むるに過ぎないから、人生からしむならば、寧ろ弔すべきが至當だといふのもある。
が然し進は新に通すで、へさうが、引續かうが、一循環終へて更に次の循環を始むなら、その初頭に於て、謹んで新年を賀すると云も。Desgna referida é a Año Novo 云々

追憶慢語

NOTÍCIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes, 16
Caixa, M. Tel. Cent. 5595
S. Paulo, Brazil
Proprietário e Editor
Senhor Kuroishi
Assinatura
Por Anno.....25\$000
" Semestre.....13\$000
" Mez.....2\$000
" Semana.....\$600



嘲弄して居る。百姓がお湯を使つて窓から首を出すに馴れるまでは、まだ大分かかる。大橋氏は今頃は移民課長でやらで納まつてござるだらうが、日米氏の報ずる所によるど、ブラジルは「聞いて極楽見て地獄」だといふた。そんな地獄になぜ好んで人間をよこすのだ、此のブラジルを侮辱するに程がある。之れは正にブラジル共和国に對しインサルトでありカラムニーである。而して日本紙は大橋氏の言葉を例に執り、ブラジルは行く可き所で無い、文化の程度が低い、

日本人在留民の美德につけ込んでも、言文を吐かすべく機會を與へる。若し伯國の輿論は不可である。若し伯國の輿論を喚起するよぶの事が一つある。赤松氏は之に對しどんな策を有つてゐるのだと。何ののかと机上の空論で小原定義の長いのは日本人の癖其の間に北伯ではフォードが萬弗を放下して着々仕事を創成案を得てバラ州政府と大植民地建設に着手した。う

論の日本人が、洲内に生活してゐるだろが、秩序を保ち精勤するにあつては、専門家としてある。今では恐らく五萬以上だろうが、洲内に生活してゐるだらうが、秩序を保ち精勤するにあつては、専門家としてある。規律を擺き亂す事は、容易である。例へば軍隊の如き規律の堅固な所でも、そうだ。一九一八年に獨逸軍隊にそれを見た、隊長の一命令で自在に操縦してゐた厳格な軍律も、かんがめ病毒に感染すると、『各自の考へて好きな通りにすれればい』といふ風になつた。命令するものばかりで、一人だつて服従するものの無いよくな此の國に來てゐても、日本人

此の州の如きは已に露西亞のサラーダだ。此のサラーダには一日より混せるものが殖えるではないか、素質や感情のこと、あれやこれやで分析するなら、理論より實用を擇へといふ結論に到達するのだ。

日本は數百の群島の寄り集りで出來た國だ。何十數萬の過剩人口を年々國外に吐き出す必要がある。日本人流に執拗に且つ的確に此の過剩人口を収容するに足る國々の研究を怠らないのは尤の話だ。

サンハウツの農業の發展を期し、何十萬人の移民でも受入れていゝが、廣告料を拂つての宣傳や、寫真等でおだて上げられ

日本は「日本移民を必要だと主張し、よふとするのでは無い」と併し、日本は老衰した殆ど放棄の状態にある多くの農場が、維持に困るまつて細かく分割しよふとする状勢の下にあるのは事實だ。

聞く所によると、此の近くの郡で日本か或る會社で大きな古農場を買收して、それを區切りにして、擇選した良い百姓を入れて行らせる事とし、年賦拂の方法で地代を支拂はせ、地代皆済の上は各々地主となれるといふ仕掛けだ相手。

此の方法は最も實際的だ。矢崎に大きな象に、白毛の生へた様な物の役にも立たない古農場の持主等は、お蔭で助かることが



るふ迎を年新の回二第後任就
下閣スタイル・ントンシワ領統大國ルジラブ

日本移民

るが、其の責任の多くは官吏に在るのを見たて、吾人は他に何等の方法を樹つべきの必要を、此の新たなる年の始めに於いて絶叫せざるを得ないのだ。

は規律あり、服从の念に富着物を變へ、馴れ、歸化す。されば皆事實ある。審美學者はメスを加へる事ないで、實際に遠ざかつた事丈けの夢想を逞しうし、學者は無闇に躍氣となつてするのだが、其の審美學を具へてゐないからと論じして、社會學者は日本人の素朴な心を違ふからと辯ずる。白人種の事を問題にするのな

者をも沈静せしむる。み、新開地で日本人が一層役にてゐるのを認められる。カラは已にプログラ化した人と一緒にになって、土地に精を出してゐる。日本基督教の最初の混血校で觀察する時期にはまだ此の國に愛着があり、他國へも折合ひが良い。

信濃協會經營ア移住地 (上) 藤本儀三郎研究

アーリアンサ移住地といへば赤兒でも知る如に、殆ど植民地の代表語として響く、其の宣傳は至れり盡せり、でアーリアンサを知らなければブラジルに就て語るに足らぬ程に言ひ難われる。私は實をいへばまだアリナ^{アーリアンサ}をシナを見ない、寔に立ち後れの感がして後ればせながら之が研究に志し、先づ信濃海外協會發行の海の外第六十三號誌を繰りて通讀した。

斯くて置くが、私は人の事業を破壊の目的で本文を草したのではない、植民地として所期の目的を達する爲めには常に改良を志さねばならぬ、改良せんとするには先づ其の缺陷の存す所を発見するを要す、而して始めて具體案を得、適材を配することにより成果を挙げ得るものとする、故に吾人をして少しく之アーリアンサといふ言葉は洵にゆかしき餘韻をもつ、聯盟を意味して見える、さればこそ公益團體相投じた者同志が集まつて活けるも死ぬるも共に行く所まで行かうといふ決心がひらめいてゐる、さればこそ營利會社では無い(三頁)と宣言し出資に對して利益の配當は爲し得ぬから寄附金といふ名義で二十萬圓の寄附を募つたのだと判つた、營利を目差して定款の必要もなく、經營に就て一々株主總會の決議を経るを要せず當事者に取つては實に樂な仕掛けである。

官選植民地かアーリアンサと稱するルサンビラ農業を去る四十餘基米突(日本里程で十里餘)の信濃海外協會建設植民地は大正十二年七月調査會社に送つて土地の費を伯國領事館に委託(五四頁)し撰定した

日曜日 一月一日 昭和三年

信濃協會經營

藤本儀三郎研究

ある。若しそれが事實とするな。官撰植民地の觀點から見るに、アルケール二百五十ミルを看板に使ふのも宣傳法の一つだと思へぬでも無い。土地の總面積は二千二百アルケイレスであるに足らぬ程に言ひ難われる。私は實をいへばまだアリナ^{アーリアンサ}をシナを見ない、寔に立ち後れの感がして後ればせながら之が研究に志し、先づ信濃海外協會發行の海の外第六十三號誌を繰りて通讀した。

斯くて置くが、私は人の事業を破壊の目的で本文を草したのではない、植民地として所期の目的を達する爲めには常に改良を志さねばならぬ、改良せんとするには先づ其の缺陷の存す所を発見するを要す、而して始めて具體案を得、適材を配することにより成果を挙げ得るものとする、故に吾人をして少しく之アーリアンサといふ言葉は洵にゆかしき餘韻をもつ、聯盟を意味して見える、さればこそ公益團體相投じた者同志が集まつて活けるも死ぬるも共に行く所まで行かうといふ決心がひらめいて見える、さればこそ營利會社では無い(三頁)と宣言し出資に對して利益の配當は爲し得ぬから寄附金といふ名義で二十萬圓の寄附を募つたのだと判つた、營利を目差して定款の必要もなく、經營に就て一々株主總會の決議を経るを要せず當事者に取つては實に樂な仕掛けである。

官選植民地かアーリアンサと稱するルサンビラ農業を去る四十餘基米突(日本里程で十里餘)の信濃海外協會建設植民地は大正十二年七月調査會社に送つて土地の費を伯國領事館に委託(五四頁)し撰定した

アルケール二百五十ミルを看板に使ふのも宣傳法の一つだと思へぬでも無い。土地の總面積は二千二百アルケイレスであるに足らぬ程に言ひ難われる。私は實をいへばまだアリナ^{アーリアンサ}をシナを見ない、寔に立ち後れの感がして後ればせながら之が研究に志し、先づ信濃海外協會發行の海の外第六十三號誌を繰りて通讀した。

斯くて置くが、私は人の事業を破壊の目的で本文を草したのではない、植民地として所期の目的を達する爲めには常に改良を志さねばならぬ、改良せんとするには先づ其の缺陷の存す所を発見するを要す、而して始めて具體案を得、適材を配することにより成果を挙げ得るものとする、故に吾人をして少しく之アーリアンサといふ言葉は洵にゆかしき餘韻をもつ、聯盟を意味して見える、さればこそ公益團體相投じた者同志が集まつて活けるも死ぬるも共に行く所まで行かうといふ決心がひらめいて見える、さればこそ營利會社では無い(三頁)と宣言し出資に對して利益の配當は爲し得ぬから寄附金といふ名義で二十萬圓の寄附を募つたのだと判つた、營利を目差して定款の必要もなく、經營に就て一々株主總會の決議を経るを要せず當事者に取つては實に樂な仕掛けである。

官選植民地かアーリアンサと稱するルサンビラ農業を去る四十餘基米突(日本里程で十里餘)の信濃海外協會建設植民地は大正十二年七月調査會社に送つて土地の費を伯國領事館に委託(五四頁)し撰定した



謹賀新年

カーザ東京

杉本芳之助

サンパウロ市
Rua B. de Itapitinga, 20

謹賀新年

昭和三年一月一日

岡本龍太郎

松屋商店

年新賀謹

日一月一年三和昭

郡松山下正房彦
Rua do Commercio, 11-A
Prazeres São Paulo

謹賀新年

昭和三年一月一日

伊東商店

サンパウロ市

年新賀謹

日一月一年三和昭

GARAGE MIKADO

Avenida São João, 140 — Telephone, 4-0040

S. PAULO

年新賀謹

日一月一年三和昭

社會式株業興外海
店支國伯

聖市

移植民地部

アニユーマス
イグアペ

南聖倉庫

サントス

年新賀謹

昭和三年一月元旦

日本雜貨各種直輸入業
扇子各種製造販賣業

合同物產株式會社
ブラジル

Comp. Godo Bussan do Brasil S.A.

Rua General Camara, 213 Caixa Postal, 1004
Rio de Janeiro

今年の三月頃、フランスの熱帶衛生雑誌で讀んだ話だから、悉皆、渡邊勤が要は斯れである。北米人の經營して居る農園のマリヤ病流行に際して經濟を無視して人命を尊び「強壯なそと言ふ極めて卑近な、而も極めて眞理である信條のもとに飛行機を飛ばせて、その農園内の蚊の消滅地となるべきブレショや小川や溜水等に「ビショード・バリ」と言ふ一種の消毒粉を撒き散したのである。恐ろしく金を掛ける仕事である。その手段はそんな事はどうでもいい。唯外國の農園や植民地經營者がその保険防病と言ふ問題にどれだけ居るかを考へて貰ひたい。何度でも言ふことだけどどんな植民史でも讀むて御覧なさい。第一頁第一章はサネアメント即ち人がそこに居住して健康を保つてゆける様に衛生防疫設備を完成することである。既往を悔いても詮な分る。然し既往を悔いても詮な分る。現在の植民地は現存の状態では理想的な豫防衛生の實施を唱へ難きものがあるが新らしく一つの植民地を經營しやうとして居る人達でさへ "Sante e depois porvar" を

今日の豫防醫學

無視する傾きが多分にある評判りがないか。政府が精一杯に力助けして居るコンゴニヤ植民地では高澄な空氣と透徹の水の宣傳に敗れて「あそこには病氣はない」と感違ひして例へば薄氷の上に一步を踏み出すのではないか? 同仁會が現在主力を傾倒して居る仕事は豫防衛生の貴重な實際方法の探求である。どうしたら避けうべき病氣に罹らないで働いてゆけるか? ある高岡ドクトルのマリヤ病の豫防、フェリダ・ブラバの撲滅に對する奮闘所詮である。

一家の爲めである、妻の體が丈夫であつたら假令夫が仕事をするなど言つてもするのが人情だ病氣の妻に仕事を強ふることは貴様早くくたばれ』と宣言するやなので、男子のなすべき道ではないと感ずる。始めて苦言を呈することは本意でないが、各地を歩いて常に深く感じて居ることだから一年の始めて居ることだから一言述べた次第、此の苦言から甘い意味をこつて貰へば、筆者の満足はこれに過ぎない。

年首の女

女は優しいもの、愛らしいものでなくしては夜の明けは日本である。此の日本で育てられたお互ひは、ブラジルへ来ても變らぬ筈はない。若し變れりとすのに起因するも一つの理由だらうが、専一つは女の方に世界的移住の訓練の無いのも大なる理由だらう。

女は何か變つた事があれば泣くそして故國へ歸りたいと駆々とこねる。其處で男も遣り切れぬ只單に愛らしきが爲めに愛するだけが、鳥や花を愛でるやうに、から高麗的に出る。そうすると女は黙まる。黙つて男の偉さを自得する。矢張り女は優しいもの、愛らしいものである。でもあるから男は女を愛して遣らねばならぬ。が併し如何に愛せばどうにかして、鳥や花を愛でるやうに、只單に愛らしきが爲めに愛するだけでは不可以ない。女にも男と同じやうに人格を認めて、敬愛して遣らねば其處に弊害が起る。殊に夫と妻との關係は一家の經營に於ては正さしく共同者である。故に敬愛する裡にも、足らざる處は補ひ、間違ひのある處は警めねばならぬ。斯くて始めて一家の繁榮なるものが生まれる。所が理窟はさうであつても實行は仲々困難だ。が併し行はれぬことはない。(記者)

新賀謹

日一月一年三和昭

仲眞商店
穀物仲買商
北西線、プロミツソン町
郵函二五

新賀謹

日一月一年三和昭

藤井正人
農產物仲買
プロミツソン町
郵函八

Marcenaria e Ferreiro

Est. Promissão L. Noroeste

指物調度一式
並ニ鍛冶職
古賀工場一同
ノロエステ線
プロミツソン町

新賀謹

日一月一年三和昭

青 年 聯 盟
伯國聖州ノロエステ線
プロミツソン驛

謹賀新年

昭和三年一月一日

松藤商店
ノロエステ線プロミツソン町
郵函九一

謹賀新年

昭和三年一月一日

カミニオン工場
北西線
プロミツソン町

藤原數巳
北西線
プロミツソン町

謹賀新年

昭和三年一月一日

内外品雜貨

農產物仲買
商
ノロエステ線
プロミツソン町

平田商店
平田千嘉藏
ノロエステ線
プロミツソン町
郵函四七

Casa Hirata

Armazem de Seccos e Molhados
Vende e Compra Generos do Paiz
Est. Promissão = L. Noroeste

内外品雜貨
農產物仲買
商
ノロエステ線
プロミツソン町
郵函四七

本村田利美親授
高橋利美
北西線グワキサラ町

謹賀新年

昭和三年一月一日

CASA YANAGUI

DE
FRANCISCO H. YIDA
ARMAZEM DE SECOS E MOLHADOS
Est. Promissão L. Noroeste

力・ヤナギ
飯田彦光
北西線プロミツソン町
郵函一八

諒闇明けの新春を壽ぎ奉候
客年中は多大の御引立に預り感謝措く能はず
候本年も相變らず御愛顧の程奉願上候
昭和三年一月一日

謹賀新年

昭和三年一月一日

開店御披露
ホテル・オリエンタル
北西線プロミツソン町(驛近く)
郵函四七

謹啓各位益々御健勝之段奉賀候

陳者小生今般ホテル兼アルマゼン開業仕り誠實もつて御華客様方の御用命に應じ申候につき御観負の程伏して御願申上候 敬具

内外品雜貨商 青木多喜藏
ホテル・オリエンタル
北西線プロミツソン町
郵函四七

新移住者の
れ日出度話

白石富

年頭の祝辭に換へ私の見地より
移植民者の概況を聊か述べて見
たいのだが、それも不景氣時代
に於いて吹き抜きの話のみで埋め
ることもお互ひに何とやらだ
から、哀れな話は後廻しにし茲に
は至極お目出度い方面のみに止
めて置かう。而して在留諸君や
内定の兄弟達特にこの一篇を
餓けたい。

この初年間を私達も堪忍に委ね
時の力に成り立つて来たが、その間多少の苦痛も有の不
満も覺えさせられぬでもなかつたが、悪い方面は暫時抜きにし
て題材の儘に私は南米ブラジル
は什麼意味からしても面白い處
だと思ふ。

假令乞食にならうごとに氣遣さ
ひはない、毎日汽車の中で手を
出しつづけるなら一人平均十錢
二十錢の者はない。而して船來
乞食の例に洩すで可なりの服も
着け葉巻もすぱりすぱり遣つ
てる怡好を見てもその香氣さ
が或る程度迄は想像される。
これはリベラン・ブレート・ボ
ンフイン間に亘る箱舟専門の二
三の常習乞食の話であるが、一
日に往復八回と假定して一列車
三箱位から稼ぐ價額は見るに
一箱百人乗りの約半數詰り四五
十人かぎりに十錢宛頂戴する
とも五間、尚ほ八回を半減し四
回の都合二十圓だ。極く切り詰
めて一箱分のみでもさう云ふ勘
定になるのだが、まあ三箱の百
人位から十圓一回の八回の八
十圓で來たら一日平均百圓にな
んなる始末だ。極く切り詰
本中流以上の月給取も遙かに及
ばないことになるがこれ
では餘り詰が甘過ぎるのでその
三分の一の月收（邦貨四ミル替
への二百圓也）のみで見る、そ
れ十六頁へつくる。

Hotel Nagata

Rua Luiz Gama, 36
Est. Lins — L. Noroeste

長田旅館
館主 長田幸助
ノロエステ線
ルイズ・ガマ街三六

謹賀新年

昭和三年一月一日

CASA DIAS

Est. Guaycara L. Noroeste

店主 アントニオ・フェル
ナンド・デ・アイアス
販賣主任 高橋善七
北西線グア井サラ驛

謹賀新年

昭和三年一月一日

齋藤商店
ノロエステ線
ブレスデンテ・アルベス驛

謹賀新年

昭和三年一月一日

年新賀謹

旦元月正年三和昭

會人本日シタソラアグ

驛シタソラアグ線テスエロノ

相馬兄弟商會
北西線グア井サラ驛

謹賀新年

昭和三年一月一日

ノロエステ線グア井サラ驛
ベレーザ植民地
香川縣人 田甫松三郎

Açougue de Povo

Rua Bahia — Est. Promissão

肉屋 福田新三郎
ノロエステ線
プロミツソン町バイア街
(シネマ・サン・ジョアンの近く)

謹賀新年

昭和三年一月一日

謹賀新年

昭和三年一月一日

御菓子製造
花田郡藏

BAR E BILHAR CONFEITARIA

G. HANADA
Caixa Postal, 12 Est. Promissão

玉突臺、上等和洋酒、日本品各種
北西線プロミツソン町郵函二二

謹賀新年

昭和三年一月一日

CASA UYEDA

—DE—
TOMEJI UYEDA

Loja de Fazenda, Armarinhos, Roupas feitas, Chapeus de sol
e da cabeça, Artigos escolares, Ferragens, Louças e Bebidas etc.

Seccos e Molhados
Compra e Vende Generos do Paiz
Est. Presidente Alves L. Noroeste

反物、小間物、衣類、帽子、
傘、小學用品、金物、陶器類
飲料一切、食料雜貨商
穀物の仲買も致します
ノロエステ線
ブレスデンテ・アルベス驛

上田商店
上田留治

謹賀新年

昭和三年一月一日

賀正
昭和三年一月一日
御諸兄の御發展を祈り併
而將來の商交誼を願ふ
入航カハチ九
南鳳會員諸兄へ
同中尾安雄
九州一
ソロカバナ線
シャパンテス
佐賀縣人
セイカバナ
アーヴィング
同

横尾佐一

謹賀新年
昭和三年一月一日
併謝平素之疎遠
尚祈將來之厚誼

野村南米農場
大伊藤一
外窪陽
同治三

Faz. Sô, Cornelio Cambuí, 91 Cambuí, E. do Paraná

貴力會
顧問代理
外石井員
会員松井
同平
顧問
五反田貴已
ソロカバナ
線
アーヴィング
郵
番

謹賀新年
昭和三年一月一日
ノロエステ
ビルグ
井町
ビリグ
井町

宮崎商店

謹賀新年
昭和三年一月一日
舊年中は各位の御引立てにより日に
増じ繁昌仕り候尙本年も不相變御愛
顧の程奉御願候
入航カハチ九
矢野商店
コチア・モンヨベーリヨ

長谷川孝一
ソロカバナ線ビラジユ市[入口]

日本旅館
代田喜市
ベンナボリス市
アベニダルイス・オザリオ
郵函二二六一

Hotel d'Oeste
Est. Biriguy — L. Noroeste
昭和三年一月一日
ホテル・ドエスティ
川北房喜
北西線
ビルグ井町
郵函二二八七

上野米藏
昭和三年一月一日
Cambará Est. Quiribas
L. São Paulo-Paraná
セ・セザール
驛

謹賀新年
昭和三年一月一日
本店
長谷川二郎
ソロカバナ線ビラジユ市[商銀下]

謹賀新年
昭和三年一月一日
日用品雜貨
穀物仲買
佐藤常喜
佐藤商店
ノロエステ
アベニダ・オルセン
郵函一〇一

Casa Yamaguchi
ARMAZEM DE SECOS E MOLHADOS
Vende e Compra Gêneros do Paiz
Est. Biriguy — L. Noroeste
山口商店
北西線
ビルグ井町
郵函二二七
朝日素麵製造所
伊藤嘉平次
北西線
アラサツバ
市
トレゼデ・マイオ街二〇九番

PHOTOGRAPHIA JAPONEZA
++ DE ++
JOAQUIM KOMATSU

小松寫眞館
現像、燒付、引伸
美術寫眞、肖像、出張撮影
館主 小松重
Caixa Postal No. 109
Pres. Prudente L. Sorocabana

年新賀謹
日一月一年三和昭

岡島仁郎
棉花仲買業
セ・セザール
驛
Est. C. Cezar L. Sorocabana

Casa Satow
—DE—
SATOW TUNEKI
Av. Olsem — Est. Pennapolis

謹賀新年
昭和三年一月一日
佐藤常喜
佐藤商店
ノロエステ
アベニダ・オルセン
郵函一〇一

謹賀新年
昭和三年一月一日
伊藤嘉平次
北西線
アラサツバ
市
トレゼデ・マイオ街二〇九番
朝日素麵製造所
伊藤嘉平次

ラジルに於ける

紹の産出量

今日元旦は、諒闇明け後の最初の新年で、宮中においては新儀制令りさだむるところにより、天皇、皇后両陛下には一日二日正殿に上駕遊はされ、文武高官（勅三等從四位以上）有爵者並に夫人及び外國大公使、同夫人などの拜謁をうけさせらる。兩陛下おそみひで拜謁をうけさせられるのは實に大正九年の元日以来六年ぶりのことであるが、更に一日二日の兩日從六位勲六等以上の有資格者が宮中に参内して參賀儀に署名することとなる。一方宮中では元日には四方拜、三日には元始祭、四日には政治始の儀を行はせられ、五日には新年宴會を催されるが、一月中には讀書始め儀も日をさだめて行はせられるはずである。

なほ御歌會始め儀は本年は二月中旬より催されるはずで、その御題は新年早々仰出だされるよしである。

州政廳新築

恭賀新禧

(同不序順) 換 交 刺 名

石川 増太郎	松 谷 正治	林 田 鎮雄	吉 田 七造	山本 洋服店	佐 藤 由	田 中 龍介	今 村 惟喜	吉 田 梶忠	佐 藤 市郎	宮 本 浩
グラントン驛 プロミツソン町	グラントン驛 プロミツソン町	ルツサンヴィラ驛 ピリグ半町	ピリグ半町	ノロエステ線リンス町	ダワキサラ驛	旭小學校	ベンナ驛平野植民地	サンタリツタ耕地 サンナナ驛	リソス驛	リフハイナ驛米作地
Est. Guyyaru L. Novoeste	Caixa Postal, 94	福壽植民地 イグアベ・レジストロ	島田 初次郎	原 口 實	大森 角之助	今 村 権造	太陽植民地	サントアナスタシオ驛 サントアナヌタシオ驛	郵函三三四驛	郵函三四四驛
ソロカバナ線にて	青木 新次郎	同 本間多三郎 アラ・カラ線マットン驛 三八俱樂部員諸兄へ	ジウケリ	川原 政衛門	長尾 庄次郎	日本 人會	ソロカバナ線 バラグアス驛	ソロカバナ線 マカウバス	松永 敏夫	リフハイナ驛米作地
ソロカバナ線にて	松 田 重正	新潟縣人 太郎兵衛 同 本間多三郎 アラ・カラ線マットン驛 三八俱樂部員諸兄へ	ソロカバナ線にて	林田 實三郎	長尾 庄次郎	日本 人會	ソロカバナ線 マカウバス	ソロカバナ線 バラグアス驛	松永 敏夫	リフハイナ驛米作地

年 新 賀 謹

昭和三年一月一日

中森憲太郎	總務部
主任 伊藤敬三	農場部
主任 藤村信幸	監督 マノエル・センティユ
主任 鹽見貞太郎	營業部
主任 川村二郎	運輸部
主任 鈴木吉雄	工務部
主任 岸根菊治	倉庫部
會長 森淳吉	
副會長 木村末喜	
會計 島崎忠太郎	
同 大瀧彌七郎	
書記 矢野和雄	
文化殖民地協會	
在北米	

文化殖民地

Caixa Postal, 52, Est. Paragominas, L. Sorocabana.



(同不序順) 換 交 刺 名